



海に囲まれている千葉県は農林水産物に恵まれています。この豊かな千葉の恵みを育むには「森の力」を欠かすことは出来ません。これからの未来のためにいまある森林を守って行きたい。この思いを大切に、**一般社団法人 千葉県木育コーディネーター協会**を立ち上げました。『木育』を通じて子どもから大人まで多くの方々に、千葉県の森に関心を持っていただき、一緒に活動をして行きたいと思っています。

設立背景

千葉県の森林の未来について、木や森の大切さを伝える人材を育てる県の取り組みとして、2021年の冬、木育コーディネーター養成講座が始まりました。この取り組みを理解し、共に活動する仲間が集まり、2023年4月12日に設立しました。

木育とは

木育という言葉は、2004年に北海道で生まれました。木育とは、木材や木製品との触れ合いを通じて木材への親しみや木の文化への理解を深め、木材の良さや利用の意義を知ってもらう教育活動のこと。

自分たちの森は自分たちで守る

木を伐って、育てて、また伐って。子どもから大人まで幅広い世代へ向けて、住んでいる地域の森林に関心を持ってもらえるように、木と森の良さ・大切さを伝えて行きます。千葉県産材の木のおもちゃや、里山・森での取り組みを通じて豊かな心を育み、森林への思いを未来へ繋いで行く活動を目的としています。



森林の循環利用



木育コーディネーターが中心となり、千葉の木でおもちゃを開発しました。『ちばの木おもちゃ』に触れて千葉の木の良さに気づき、関心を持ってもらうための取り組みです。